

博愛すまいるん

Enjoy Smile Up!

32
新年号 2024
Free
magazine

教えてドクター

硝子体手術を始めました

眼科主任部長 山崎厚志医師

チーム紹介

ドック健診センター

同愛会リンク

医療支援型グループホーム博愛



雪の中
小さく光る 道しるべ
今福をなす 南天の赤

真っ赤な美しい実を付け、めでたい縁起物としてお正月にも欠かせない南天ですが名前の音が「難を転ずる」に通じることから縁起木として珍重されています。

外来診療担当医師 一覧表 2024年1月～

あなたの健康、

本年もよろしくお願ひいたします



社会医療法人同愛会

博愛病院

ふくよね博愛クリニック

博愛こども発達・在宅支援クリニック

新年のご挨拶

社会医療法人同愛会理事長 石部 裕一

日頃より、社会医療法人同愛会へのご支援とご指導を賜り感謝申し上げます。2024年、令和6年は辰年で、「成功という芽が成長し、姿を整えていく」との縁起の良さが表れています。

国内では、2025年に後期高齢者となる団塊の世代が複数の疾患を抱え、慢性疾患の有病率が増加することから、医療や介護が必要な状況が増加し、「医療・介護サービスの提供体制の改革」として、病床の機能分化や連携、在宅医療・介護の推進、地域包括ケアシステムの構築が求められています。鳥取県では65歳以上の高齢者が3割近くに達し、全国平均よりも早く高齢化が進行しています。また、2040年には人口が45万人を下回り、高齢者人口も4割近くに達すると推計されており、これに対する対策が喫緊の課題となっています。

我々同愛会が位置する鳥取県西部医療圏においては、国立系の3病院が大きな存在感を持っています。大学病院では全国有数なロボット手術の実績があり、労災病院や米子医療センターではそれぞれ特化した医療を提供しています。同愛

会は、博愛病院を中心に、介護老人保健施設やわらぎ、博愛こども発達・在宅支援クリニック、ふくよね博愛クリニック、そして、同愛会グループのやすぎ博愛クリニックと共に機能をフルに発揮して、地域住民の皆様の健康を継続的にサポートします。特に、旗艦である博愛病院では、高齢者向けの急性期医療、回復期のリハビリテーション、慢性化した場合の療養病床など、在宅ケアにも対応した機能を整備しています。

在宅医療・介護の充実が高齢者人口増加に伴う課題であり、同愛会でも病院や老健から自宅への移管に課題を抱える患者さんへの対応に取り組んでいきます。その一環としてサービス付き高齢者住宅の建設も視野に入れて検討中です。

社会医療法人同愛会は、博愛病院を中心に多岐にわたる機能をフルに展開し、地域住民の期待に応え、皆様の健康をサポートしてまいります。今後ご支援の程よろしくお願ひいたします。

令和6年元旦

みんなの幸せ

介護老人保健施設やわらぎ
医療支援型グループホーム博愛



新年のご挨拶

博愛病院院長 石部 裕一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より皆様からの温かいご支援とご指導に心より感謝申し上げます。

昨年6月以降、博愛病院ではコロナ前の診療スタイルに戻し、患者さんの期待に応えるべく様々な改革を進めてまいりました。特に力を入れているのは「医療の2024年問題」への対応です。この問題は、2024年4月までに医療業界の労働環境や働き方を見直す必要がある重要なテーマです。2019年に施行された働き方改革関連法には5年間の猶予が与えられましたが、その期限が迫っています。医師の時間外労働上限規制が課題となっており、博愛病院では年間で960時間以下、月間では80時間未満の時間外労働を設定しています。正確な勤務時間を把握するためのシステム導入を進める一方で、時間外労働に対する割増賃金の支払いも検討中です。これは病院経営に大きな影響を与える重要な課題であります。さらに、医師は24時間対応の尊い義務感を持っていますが、それに伴う精神的・身体的に大きな負担が避けられませ

ん。これに対処するため、博愛病院ではICTツールの導入・活用やタスクシフト及びタスクシェアを含む様々な解決策を模索しています。具体的には電子カルテやiPhoneを活用した情報共有システムの導入、業務の一部を看護師や薬剤師に移管することで、医師の負担を軽減する方策を検討しています。

引き続き、博愛病院は働き方改革を進め、患者さんにより質の高い安心な医療を提供できるよう努めてまいります。

本年も変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。令和6年もより良い年でありますようお願い申し上げます。

令和6年元旦

教えてドクター

教えてドクターでは
当院の医師が病気や健康情報を
わかりやすく解説します。



眼科主任部長

山崎 厚志

Yamasaki Atsushi

鳥取大学 昭和61年卒

【主な所属学会と資格】

- ・日本眼科学会
(専門医、指導医)
- ・PDT研究会(認定医)
- ・日本眼科医会
- ・日本眼科手術学会
- ・日本網膜硝子体学会
- ・日本糖尿病眼学会
- ・日本眼循環学会

松江市出身。鳥取大学医学部卒業後、鳥取大学附属病院眼科に入る。網膜の病気に興味を持ち、熊本市内の眼科病院で網膜硝子体手術の修行をしたのち、鳥取大学に帰り、多くの硝子体手術をてがけるとともに、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性などの病気に対する最新治療を導く。鳥取大学眼科准教授を経て、埼玉医科大学総合医療センター教授に就任。令和5年に米子市に戻り、博愛病院に勤務することになりました。大学時代は軟式テニス部に所属、休みの日は、家庭菜園、囲碁、ウクレレをして楽しんでいます。



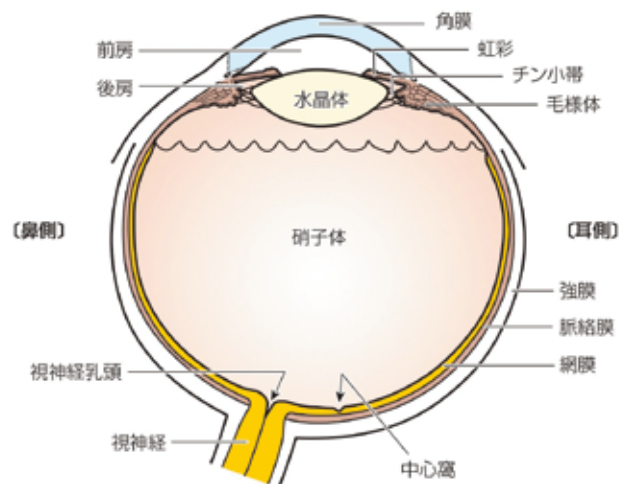
硝子体手術を始めました

硝子体って何？ 硝子体手術って何？

硝子体は「しょうたい」と読みます。眼球の中に詰まっているゼラチン状のコラーゲン線維です。この「硝子体」は赤ちゃんのころは、眼球の細胞に栄養を送っていた物質ですが、大人になるとその役割は網膜の血管が行い、「硝子体」は加齢とともに水分に変わってゆきます。その時、残っ

たコラーゲン線維が網膜に張り付いたり、網膜を引っ張ったりすることで病気が起きることがあります。

硝子体手術が必要な病気は、硝子体出血、黄斑(おうはん)前膜、網膜剥離、黄斑円孔です。硝子体出血は、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症のような眼疾患がある人に起こりやすく、ほかのものは加齢がおもな原因です。それぞれ、とても重症な視力低下につながる病気ですが、硝子体手術はこれらの病気を治すために行う手術です。



©2021 日本眼科医会

眼球の構造

硝子体出血、黄斑前膜、網膜剥離、黄斑円孔ってどんな病気？

硝子体出血

糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症は血糖値や血圧が高い人がなりやすい病気です。進行すると新生血管という悪い血管が出現し、網膜から硝子体に伸びてゆきます。いったんこの血管ができると、レーザー治療は効果がなく、硝子体が動くたびに血管が引っ張られて、眼の中に大きな出血を起こします。すると急に視野全体が見えなくなります。これが硝子体出血です。

黄斑前膜

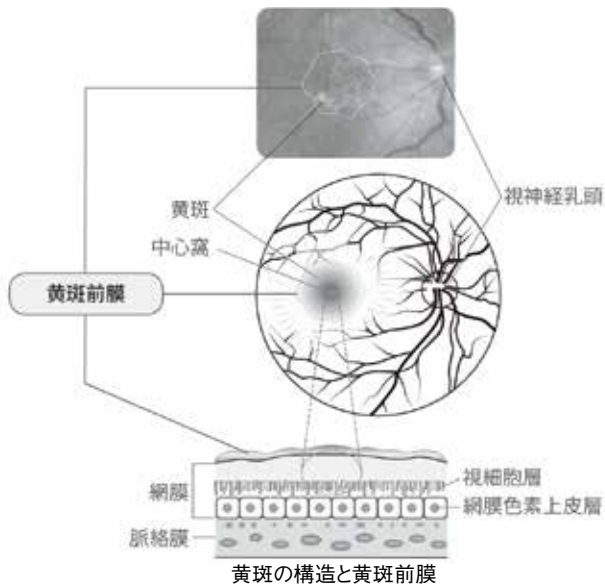
硝子体のコラーゲン線維が網膜表面にセロハンテープのように張り付いて、網膜にしわができる病気で、「ものがゆがんで見える」「大きさがちがって見える」という症状を呈します。徐々に視力も下がってきます。

網膜剥離

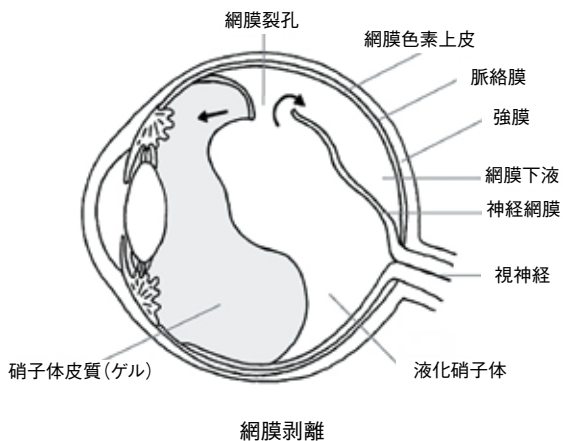
50歳くらいになると、硝子体の接着が強い網膜がさけて孔ができることがあります。(このとき「黒いものが飛んで見える」という「飛蚊症」が自覚されることがあります。)すると眼内の水分が孔を通して網膜の下に流れ込み、網膜が剥がれてしまい、視野欠損を生じます。これが網膜剥離です。

黄斑円孔

同じように、網膜の一番中心の場所(黄斑)に硝子体が癒着している人は、黄斑円孔という病気を起こすことがあります。この病気は中心が見えなくなります。



黄斑の構造と黄斑前膜

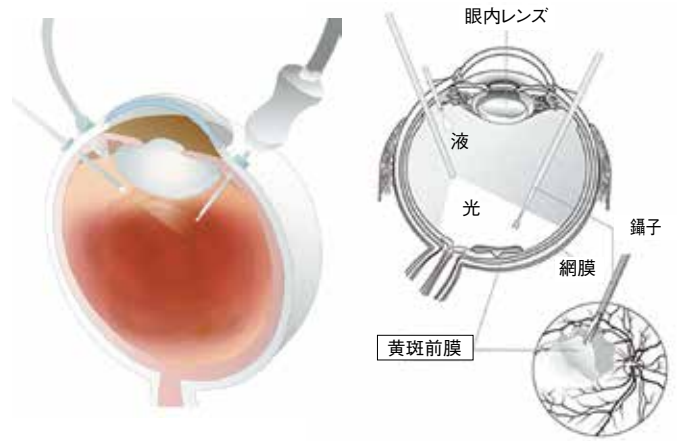


網膜剥離

す。そのあと止血のためにレーザーを同時にします。

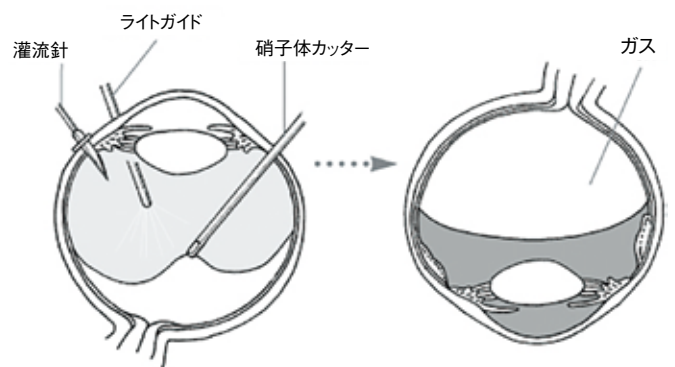
黄斑前膜の場合は、網膜に張り付いた膜を小さな鑷子でゆっくりゆきまします。

網膜剥離や**黄斑円孔**の場合は、網膜を引っ張っている硝子体をとって牽引を解除し、ガスを注入して孔をふさぎまします。網膜剥離では、同時にたまった網膜の下の水を抜いて、網膜を元の状態に戻しレーザーで凝固まします。

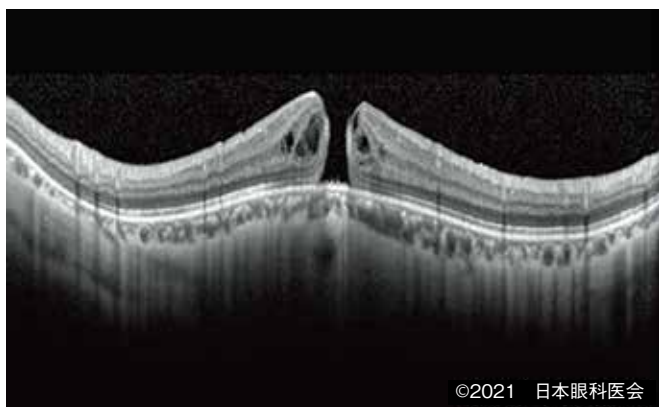


硝子体出血と硝子体手術

黄斑前膜の手術



網膜剥離と黄斑円孔の手術



黄斑円孔(断面を見たところ)

どんな手術をするの?

眼球に器具を入れるポート(小さい穴)を作って、そこから硝子体を切除吸引してゆきまします。

硝子体出血の場合は、眼内に充満した出血を吸引し、新生血管を引っ張っている硝子体をきれいに取ってしまいま

手術のあとはどうなるの?

ガスを入れない**黄斑前膜**や軽症の**硝子体出血**の手術は1泊~短期入院で、体位に制限はありません。

網膜剥離や**黄斑円孔**のような網膜の孔をふさぐためにガスを入れる病気では、術後数日間下向きの体位が必要となり、数日入院の予定となります。(ガスは自然に抜けますが、気圧が下がると膨張して眼圧が上がるため、術後2週間は飛行機には乗れません。)

まとめ

手術や機械の技術の進歩により、細かい手術ができるようになってきました。この「硝子体手術」もそのひとつです。ただし、今まで挙げた病気のなかには、すぐに治療しないといけないものや、進行してしまうと治療効果が少ない病気もあります。手術の時期を逃さないように、「飛蚊症」「ものがゆがんで見える症状」「視力低下」があれば早めに眼科を受診されることをおすすめまします。



ドック健診センター

鳥取県初！ 日本人間ドック学会機能評価認定施設を取得



当施設は令和5年8月、鳥取県初となる人間ドック健診施設機能評価を取得致しました(全国494施設目)。当機能評価は日本人間ドック学会、日本病院会が健診施設の質改善を促進するため第三者的評価を行い、受診者の皆様が安心して質の高い人間ドックを受けられるために行われています。また、同時に健康保険組合連合会の指定施設を取得し日本人間ドック学会、日本病院会、全日本病院協会、日本総合健診医学会より優良施設の指定をいただきました。今後とも、受診者の皆様に満足いただける健診施設を目指して努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

ドック健診センター長 木村 修



医師 (3名)

- ・診察
- ・結果説明
- ・生活指導
- ・外来紹介など



医師は丁寧な診察、結果説明、生活指導に努めています。最もがん死亡の多い肺がんは、AI診断、二重読影を基本としています。また、最も発生率の高い乳がんは、診断能の高い3Dマンモグラフィー(トモシンセシス)、乳房用自動超音波画像診断装置(ABUS)を導入し、乳がんの発見に努めています。さらに、ドック受診者の胃がん検診は、診断能の高い内視鏡検査を7割以上の方に、胃透視は約3割の方に行っています。

看護師・クラーク (5名)

- ・採血
- ・身体測定
- ・医療面接
- ・血液検査の結果説明
- ・子宮がん検診の診察助動など



受診者の皆様の気持ちに寄り添い不安を軽減し、安心安全に検査が行えるようサポートします。個人情報やプライバシー配慮のため医療面接・検査を全て個室対応で行います。受診者の皆様へ既往歴、手術歴、内服薬、普段の健康状態などをおたずねし、必要な情報や要望は医師や各検査部門へと情報伝達を行うシステムを確立しています。

安心安全に健診を受けていただき、受診者の皆様にご満足いただけるよう取り組んでいます。

保健師 (1名)

- ・保健指導
- ・特定保健指導
- ・フォローアップなど



人間ドックや健診は「受けて終わり」ではなく、結果に基づき生活習慣の改善や医療機関への受診(精密検査や治療)に繋がっていただくことが大事だと考えています。

当センターでは、保健指導やフォローアップを行い、受診者の皆様の現在と未来の健康を守るお手伝いをさせていただきます。

事務員 (8名)

- ・電話予約受付
- ・当日窓口予約受付
- ・成績表作成・発送
- ・請求業務
- ・カルテ作成など



私たち事務担当では、常に丁寧な対応を心掛け受診者の皆様のご希望通りの検査項目で安心・安全にご受診いただけるように、ヒアリングを行い、目配り・気配り・心配りに努めています。また、毎日行っている「受診者アンケート」のご意見を基に、次に来ていただいた時には「更に良くなった」と思っていただけるよう改善に取り組んでいます。

ご希望により女性技師対応可能

レディース検診は女性専用フロアで安心して受けていただけます。

受診者の皆様の体調を把握し安全に、また、待ち時間を考慮したスピーディーな検査廻りをご案内します。

「安心して受診することができました」と多数の声をいただいています。





～障がいの有無に関わらず、地域で安心安全に暮らせる 共生社会の実現を目指して～

管理者 高田 治美

地域における法人としての役割

医学の進歩により、重い障がいがある方の寿命や生存率は飛躍的に改善されてきましたが、一方で成人後の生活の場(住まいの場)の整備が課題となってきました。

特に、介助をされているご家族は、段々と高齢化してきており、親亡き後の生活を考えた場合、家庭以外で生活できる場や家族以外で支援ができる人材を確保する必要に迫られていました。また、以前から、病院や入所施設ではない、住み慣れた地域でともに安心して暮らせるグループホームの建設に対する要望も多くありました。

このような背景を受け、社会医療法人同愛会として、令和5年10月に「医療支援型グループホーム博愛」をオープンしたところです。

今後も、住み慣れた地域で安心して暮らしたいというご本人、ご家族の願いを叶えることができるよう、法人として、また、地域の一員として、その責務を果たしていきたいと考えています。



施設の概要

医療支援型グループホーム博愛は、障害者総合支援法に基づく障がいのある方を対象にしたグループホーム(共同生活援助事業)で、主に、医療的ケア(注1)が必要な障がい者の方や重症心身障がい者(注2)の方を対象にしています。

グループホーム博愛では、日常生活上での介護に加え、日中・夜間を問わず24時間、看護師による健康観察、疾病予防、健康管理や必要な医療的ケアの実施等の支援を行っています。



特殊浴槽室

運営方針

- ①利用者の意思及び人格を尊重し、利用者第一のサービスを提供します。
- ②終の棲家として、利用者が安心して健やかに過ごせる暮らしを支援します。
- ③ご家族や地域との結び付きを重視し、すべての関係機関との連携に努めます。
- ④医療的ケアが必要な重度障がい者の地域生活を支える責務を果たします。
- ⑤医療的ケアが必要な重度障がい者を支援できる医療・介護の人材を育成します。



利用定員 10名(将来的には定員20名に増員予定)
職員 管理者、サービス管理責任者、看護師、介護福祉士、介護員
所在地 鳥取県米子市新開4-11-13
 TEL 0859-30-3318

看護部

利用される方が安心安全に生活できるよう、医療や健康面での支援に力を入れています。



利用者さんの医療的ケア(吸引・栄養注入・気管切開部の管理等)や健康管理等を行いながら、第2の自宅として安心してくつろいでいただける環境を提供します。また、ご家族や主治医、他の事業所等と協力して、地域でご本人が希望する生活が選択できるよう支援します。鳥取県初の医療支援型のグループホームとして地域に貢献できるよう努めています。

介護部

一人ひとりの個性を尊重し、小さな変化にも注意しながら支援に力を入れています。



ご家族や看護職との連携を図りながら、利用者さんの安心安全に配慮しています。また、日常生活のサポート(介護)のほか、外出やレクリエーションを通して、一人ひとりのできることを引き出し、その人らしさを尊重しながら、障がいのある方の希望となるような施設を目指して、日々、業務に取り組んでいます。

(注1)病院などの医療機関以外の場所(学校や自宅など)で日常的に継続して行われる、喀痰吸引や経管栄養による注入、気管切開部の衛生管理、導尿などの医療的な行為のこと。

(注2)重度の知的障害と重度の肢体不自由が重複した状態にある者。

博愛病院 外来診療担当医師 一覧表

令和6年1月4日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	午前	1 診 (循環器内科)	ペースメーカー外来 田中 保則	田中 保則	●鳥大医師	田中 保則	●鳥大医師
		2 診 (消化器内科)	山本 宗平	浜本 哲郎	安井 翔	山本 宗平	浜本 哲郎
		3 診 (脳神経内科)	足立 晶子	●鳥大医師	足立 晶子	安井 建一	安井 建一
		4 診 (肝臓内科)		松本 栄二	堀 立明	松本 栄二	堀 立明
		5 診 (糖尿病内科・内分泌内科)	藤岡 洋平	竹内 龍男	藤岡 洋平	竹内 龍男	藤岡 洋平
		6 診 (呼吸器内科)	山本 司生	●鳥大医師	西井 静香	山本 司生	西井 静香
		7 診 (総合診療内科)			重白 啓司	●鳥大医師 (第1,3,5) (総合診療内科・血液内科)	重白 啓司
		8 診 (消化器内科)	岸本 幸廣				岸本 幸廣
	禁煙	重白/山本/西井 交代 (診療:14時~)					
	午後	予約再来					
小児科	小児リハビリテーション (13時30分~14時30分)	●博愛こども発達在宅 支援クリニック医師	●博愛こども発達在宅 支援クリニック医師		●博愛こども発達在宅 支援クリニック医師	●博愛こども発達在宅 支援クリニック医師	
外科	午前	1 診	竹本 大樹			竹本 大樹	
		3 診	近藤 亮	角 賢一	[アミノインテックス外来] 木村 修	近藤 亮	角 賢一
		午後	予約再来				
	乳腺専門 外来 ※午後(14時~15時30分)	午前 午後		角 賢一	角 賢一 (新患のみ)	角 賢一 (新患のみ)	角 賢一 (新患のみ)
腎臓外科	午診/午後	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤	
整形外科	午前	1 診	根津 明菜	中村 達彦	根津 明菜	中村 達彦	●奥野 誠
		2 診			●鳥大医師 (診療:9時~)		根津 明菜 (診療:~10時まで)
		3 診	●岸本 英彰	三木 純		三木 純	
	人工関節専門外来	●岸本 英彰					
	骨粗鬆症専門外来	●岸本 英彰	中村 達彦		中村 達彦		
	午後	三木 純 (第1、第3、第5)	三木 純		三木 純	三木 純	
リハビリテーション科	午後		中村 達彦		中村 達彦		
産婦人科	午前	片桐 千恵子	石原 幸一	下雅意 るり	片桐 千恵子	石原 幸一	
	午後	下雅意 るり	片桐 千恵子	石原 幸一	片桐/石原/下雅意 交代		
	女性内分泌外来 思春期外来 (14時~16時)					片桐 千恵子 (予約制)	
泌尿器科	午前 (受付:11時まで)	1月4日から診療日が月・水・金に変わりました。					●宮川 征男
眼科	午前 火、水(診療:~11時30分まで)	●鳥大医師 (診療:9時30分~)		●鳥大医師 (診療:9時30分~)			
	午後	小松 恵子 (予約外:~11時まで)	山崎 厚志 (予約外:~10時まで)	小松 恵子 (予約外:~10時まで)	山崎 厚志 (予約外:~11時まで)	小松 恵子 (予約外:~11時まで)	
放射線科	午前・午後	山崎 厚志 (予約外:~15時30分まで)	手術日	手術日	山崎 厚志 (予約外:~15時30分まで)		
皮膚科	午後 (受付:13時30分~16時まで)	中村 希代志/ ●鳥大医師	中村 希代志	中村 希代志	中村 希代志/ ●鳥大医師	中村 希代志	
救急科	午後			●鳥大医師			
ドック健診センター	1 診	鶴原 一郎		鶴原 一郎		鶴原 一郎	
	2 診		工藤 浩史	工藤 浩史	工藤 浩史		
	3 診	木村 修	木村 修		木村 修	木村 修	

※内科、外科、整形外科の午後は原則、予約再来ですが、救急、紹介患者さんにつきましては従来通り対応しています。
●は非常勤医師です。 各診療科とも、緊急手術等のため休診となる場合もございますので、事前にお電話等でご確認下さい。

受付・診療時間	午前	午後	お問い合わせ
受付時間	8時00分~12時00分まで	14時30分~16時50分まで	〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地
診療時間	8時30分より	15時00分より	TEL(0859)29-1100(代)